

2014年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	電気通信工学科						
科目名	論理設計						
科目区分	専門科目	単位数	2単位	開講時期	2年後期		
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)/選択科目(電気エネルギーコース)/必修科目(情報システムコース)						
担当者	松崎 隆哲						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル回路の設計手法や設計ツールについて理解する。(C3)</li> <li>・ICを利用して、簡単なデジタル回路が設計できる。(C3)</li> <li>・デジタル回路の最適設計手法を理解し、簡単なデジタル回路の設計ができる。(C3)</li> </ul>						
日程と内容	9/15 導入講義 9/22 組み合わせ回路 9/29 順序回路 10/6 順序回路の設計 10/20 順序回路の最適化 10/27 順序回路の最小化設計 11/17 順序回路の設計演習 11/24 論理回路の利用例およびAC特性 12/1 ICの使い方 12/8 ICを用いた設計演習1 12/13 ICを用いた設計演習2 12/15 ICを用いた設計演習3 12/22 デジタル回路設計 12/23 演習 1/19 総合演習 1/26 定期試験						
成績評価基準	定期試験	60%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習	40%					
授業到達目標の達成度	合格者については、授業到達目標を達成することができた。						
反省点	本授業は論理回路を利用する手法や論理回路の設計手法に関する演習主体の形式としている。そのため、講義を休んでしまい回路設計の手法がわからなくなり、講義内容がわからなくなってしまう学生が出てしまった。自学自習用に講義資料を用意しているが、休んだ学生が利用しないためそこまでの効果が出なかった。						
来年度の計画	来年度は、演習内容や配付資料を見直して、休んだ学生も自学自習をしないといけなくなるような仕組みを取り入れたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価は8.1点であるが、「授業の内容は理解できましたか」が3.8点、「授業内容に興味を持つようになりましたか」が3.7点、「予習または復習をしましたか」が3.7点と、学生は自分で学習し、授業内容を理解できた結果ではないようである。 回路設計の演習を複数回実施したが、配付資料を見ながらの演習であることから、理解度確認の意味では効果が出ていないので、今後は演習の実施方法や内容を見直したいと考えている。						
履修登録者数	74名	定期試験 受験者数	71名	合格者数	49名	合格率	69%